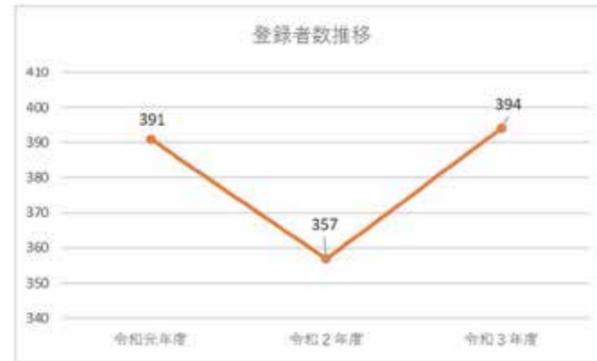


# NEWSLETTER 第13号

## ボランティアセンター登録者数、ボランティア参加者数の推移

右記のグラフは当センターに登録している学生数と、活動への参加者数を過去3年間集計したものです。

登録者数は、令和4年2月現在で、394名。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一時的に登録者数が若干減少していましたが、コロナ前の水準に戻っています。ただ、本学在学学生数(6,883名)に対する登録率は5.7%で、1割にも満たない現状です。また、1年間の延べ活動参加者数は、教職員118名、学生448名、一般市民183名で合計749名となっており、コロナ禍で対面での活動が大幅に制限されていることが活動者数の低迷につながったと考えられます。



①ボランティア登録者数グラフ



②ボランティア参加者数グラフ

来年度に向けて、まず、より積極的な周知活動と学生らにとって参加しやすい環境づくりに努め、ボランティア登録率10.0%の水準達成を目指すとともに、子どもの居場所づくりや除雪活動などニーズの高い地域活動に、より積極的に取り組んで参りますので、今後ともご指導・ご協力の程よろしくお願ひします。

## ボランティアへのご参加、募集等について

### ボランティアへの参加について

ボランティアに関心をお持ちの方は下記までお問合せください。

- ・弘前市民の方・・・弘前市ボランティア支援センター TEL：0172-38-5595
- ・弘前大学関係者・・・弘前大学地域創生本部ボランティアセンター E-mail：huvvc@hirosaki-u.ac.jp

### 学生ボランティアの募集の周知依頼、派遣依頼

学生ボランティアを募集したい団体からの周知、派遣要請を受け付けております。詳しくはボランティアセンターのホームページをご覧ください。センターへ直接お電話等でご相談ください。(※各種申請書類提出後、団体登録の可否、ボランティア要請の審議をさせていただきます。審査等に期間を要しますので、余裕を持って登録申請等行っていただきますようお願いいたします。)

- ・弘前大学地域創生本部ボランティアセンター  
 …HP：https://huvvc.net/ TEL：0172-39-3268 平日午前10時～午後3時



## 第2回野田村支援交流活動「野田村クリスマス会」を開催

令和3年12月25日(土)に今年度第2回目となる野田村支援交流活動として「野田村クリスマス会」を開催しました。

本学ボランティアセンターでは、東日本大震災発生直後から野田村へ赴き、支援交流活動を実施してきました。今回の交流は、岩手県野田村にある、野田村保健センターで実施され、本学教員1名、ボランティア学生5名、野田村の児童23名の計29名の参加がありました。

クリスマス会では、初めに本学大道芸サークルMochaの皆さんによる大道芸のパフォーマンスが行われました。参加した児童は生のパフォーマンスを楽しむとともに、実際に大道芸に

もチャレンジし、貴重な体験を楽しみました。

大道芸のパフォーマンスを楽しんだ後は、弘前市のストリートスタジオFUNKY STADIUMのインストラクター2名によるダンスパフォーマンスやダンスレッスンが行われました。コロナ禍で活動が制限されている中、体を動かしながら参加者全員で楽しみ、有意義な時間を過ごしました。

当センターでは、交流活動の継続的な実施によって、震災の記憶を風化させず、継承することを目的として野田村支援交流活動を継続していく予定です。



ダンスを楽しむ児童



プレゼント交換



記念撮影



大道芸を楽しむ児童

## 第2回市民ボランティア講座『避難所運営訓練』を開催

令和3年11月27日(土)に弘前大学 学生会館 3階大集会室において、今年度2回目の市民ボランティア講座『避難所運営訓練』を開催いたしました。

本講座は、男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営訓練を通し、弘前大学の学生や地域の方々と一緒に、避難所づくりや要配慮者の支援の仕方、コロナ禍における避難者の受入体験を実施し「誰一人取り残さない」地域防災を学ぶ、防災教育プログラムとして実施しました。当日は学生16名、市民9名、他学生ボランティア、スタッフの計38名が参加しました。

本講座は、3部構成となっており、第1部のオリエンテーションでは、一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと代表理事 小山内 世喜子 氏による講話があり、男女共同参画の視点からの避難所運営に関するポイントについて説明がありました。

第2部の班別訓練の前には、コロナ禍における避難所受入のデモンストレーションと、非常食・防災用品の紹介、アルファ化米の実演も行われました。班別訓練では、実際に避難所づく

りに使われるテントやパーテーション、段ボールベッド等を組み立て、避難所運営のためのスペースづくりを体験し、第3部では、設営された各スペースの見学と各班による設営の感想発表が行われ、「テント等の設営は協力がとても大切だと思った。」「ベッドの設営などは初めてだったが、やり方を知るだけでも次に活躍できる自信になった。」などの感想が聞かれました。

また、終了後のアンケートでは、「各避難者にそれぞれ役割を与えて運営に参画できるようにすることで、受動的に支援を受けるだけではなく皆が納得感のある避難所になる。」「設営をすることで避難所運営の仕組みも見えてくる分、利用者の不満なども減るため、みんなが作る側になってみるというのは大事だと思った。」といった声も聞かれ、参加者の満足度も高く、これまでとは異なった視点による、とても有意義な講座となりました。



小山内 氏によるオリエンテーション



班別デモンストレーション



段ボールベッドの組み立て



総務・情報班のルールづくりの様子



居住スペースの設営



居住スペースの設営②

## 令和3年8月豪雨災害支援金募金活動

令和3年8月の豪雨により、むつ市大畑地区を中心に記録的な大雨が襲い、川の氾濫、橋の崩落、土砂崩れ、農地の浸水被害等、各地で災害が発生し、停電、断水などライフラインが寸断され、甚大な被害が発生したことを受け、令和3年8月20日から募金を受付けておりました。

皆さまから沢山の支援募金をいただき、令和3年12月24日をもって受付を終了しました。

お預かりした募金は、社会福祉法人青森県共同募金へお渡しいたします。

皆様からの温かいご支援、ありがとうございました。

【受付期間】令和3年8月20日～令和3年12月24日

【募金総額】40,488円

## 学習支援事業を実施しています

今年度は、子どもたちへの学習支援事業として、「学習支援室あつぷる〜む」をはじめ、市内外の子ども食堂などで勉強のサポートやおしゃべりといった活動を通し、子どもたちの居場所づくりを行うことを目的としたボランティア活動が、対面形式で再開されました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対策により一時的にオンラインで実施されることもありましたが、参加した子どもたちは、積極的に大学生に質問したりとおうち時間を有意義に過ごしています。

オンラインで実施される「Zoomおんらin」は、こども食堂、学習支援事業利用児童や、放課後の居場所を必要としている小・中学生を対象に、放課後の居場所づくりや学習時間の確保を目的に、毎週水曜日16時30分から19時にミーティングアプリ「Zoom」を利用して実施しています。

スマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかがあれば学習会場だけでなく、自宅から個人での参加も可能です。

詳細や、利用希望の際は当センターまでお電話かメールでご相談ください。

### ▼大学生ボランティア大募集中！

現在、子どもたちの需要に対して大学生ボランティアの数が足りない状況です。子どもたちの学習習慣を確立するためには、毎週定期的な学習会の開催が必要となるため、多くの学生ボランティアの皆さんの協力が必要です。

本事業に興味のある方は是非、ボランティアセンターへご連絡ください。

ポケットWi-Fiレンタル、ホワイトボード等必要物品の支給を行っており、参加前にはオリエンテーションや事業見学もありますので、初めての方でも安心して御参加いただける環境を整えております。

詳細はホームページをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております!!



弘前大学地域創生本部ボランティアセンター

わかりやすく教えてくれる！  
なんでも聞いてね！

## オンライン共同学習会 学ぼう!Zoomおんらin

Zoomを使い、オンライン共同学習会を開催します。大学生のお兄さんお姉さんがわからないところをお手伝いしてくれます。また、「ほっとひと思つきたい」「宿題のわからないところを見て欲しい」なんて人も大歓迎！毎週開催しているので、ぜひ気軽に参加してください！

日時	場所
毎週水曜日 16:30~19:00	Zoomテレビ会議
ボランティアセンターがZoomテレビ会議のホスト(主催者)となります。下記のナンバーとパスワードでZoomミーティングに参加して、大学生のお兄さんお姉さんと一緒に勉強・相談しましょう！	
対象	参加方法
・大学生と一緒に勉強がしたい人 ・勉強のきっかけを探している人 ・おうち時間を有意義に過ごしたい人 など	申込み・参加費は不要です。ZoomのミーティングIDとパスワードで参加できます。
ミーティングID: 352 106 4646 パスワード: 393268	

※オンライン共同学習会に参加したい方は、各自Zoomアプリをダウンロードしてください。  
※参加についてわからないことがあられる場合は下記ご連絡先へお問い合わせください。

弘前大学地域創生本部ボランティアセンター(文京キャンパス大田会館2階)  
TEL:0172-39-3268 FAX:0172-34-5251  
Email: hvvc@hirosaki-u.ac.jp URL: https://hvvc.net